北大型イノベーション対話の新展開

●江端 新吾、難波 美帆（北海道大学 創成研究機構 URA ステーション）

概要

北海道大学は、平成25年度大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業に採択され、フューチャー・サーチを改良した新たな対話手法「北大型イノベーション対話」を開発した。本成果を応用し、イノベーション（社会変革）を起こすべく動き出した新たな展開について紹介し、イノベーション対話とはなにかについて議論する。

大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業

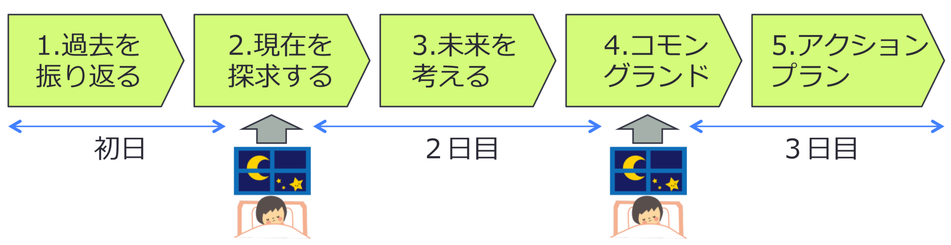
文部科学省の助成によりフューチャー・サーチの手法に基づいたイノベーション対話を開発した。

【事業実施】
- ❖ 大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業キックオフ・ミーティング
- ❖ オランダ・イギリスフューチャーセンター調査
- ❖ ワークショップ「函館を住み続けたい街No.1に！」
- ❖ 北大フード＆メディカルイノベーション国際研究拠点にフューチャーセンターを設計
- ❖ 札幌を「対話」の街に！
- ❖ ファシリテーター養成講座
- ❖ ヤング・ジェネレーション・ワークショップ
- ❖ ワークショップ企画「コンサートホール・キタラの未来を考える」（実施は来年を予定）

北大型イノベーション対話手法開発主要メンバー：　難波 美帆（左）、江端 新吾（中）、長尾 彰（右・株式会社ナガオ考務店）。
３人での作戦会議は専らSkype。申請書類の作成から３人で議論し、３人でフューチャーセンターの調査、ワークショップの企画・運営をこなした。現在も北大型イノベーション対話の活用方法について、検討中。乞うご期待！

フューチャー・サーチ

フューチャー・サーチとは…
複雑性の高い状況下でも民主的な話し合いによって、望ましい未来を探求し、共創を生み出すミーティング手法。1987年～1995年にかけて開発完成され、欧米の企業、行政、ユニセフ等国際機関で幅広く使われている。



＊２泊３日　寝食を共にするのが大事!! と教科書には書いてある。

フューチャーセンターとは…

イノベーションの創発のために政府や自治体、大学、企業が「対話の場」を設けている。
オランダ：Ship Yard （財務省）, LEF（運輸省・環境省）, Dialogue House（銀行）
イギリス：Think Lab（サルフォード大学）シンクタンク機能を併せ持つフューチャーセンター

北大型フューチャー・サーチ

- ❖ フューチャー・サーチとは…コミュニティーの強みや価値観を確認する「幸せ指標」を導出する
- ❖ エビデンス・ベイストの対話によりコモングラウンドへの道のりを短縮する
- ❖ 日本社会に適した“１泊２日” 短縮型フューチャー・サーチ
- ❖ 「次の１日」を約束し、その日までにアクションプランを各自テストし、シェアする

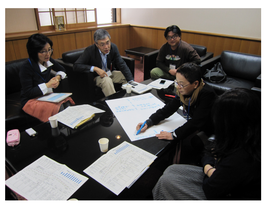
＋

- ❖ 北海道のあちこちに**居心地のよいミーティング・スペース**を発見する

北大型フューチャー・サーチ実施例（函館）

2013年12月7日～8日
大沼国際セミナーハウス
20代～50代の函館市民26名が参加

【函館WS】
- ❖ 年代別（20, 30, 40, 50代）でのグループワーク
- ❖ それぞれの年代での過去・現在・未来の認識差を利用した現状把握
- ❖ 幸せ指標の導出による自分たちの強みや価値観の把握
- ❖ 価値観別のアクションプランを作成



函館の未来へ

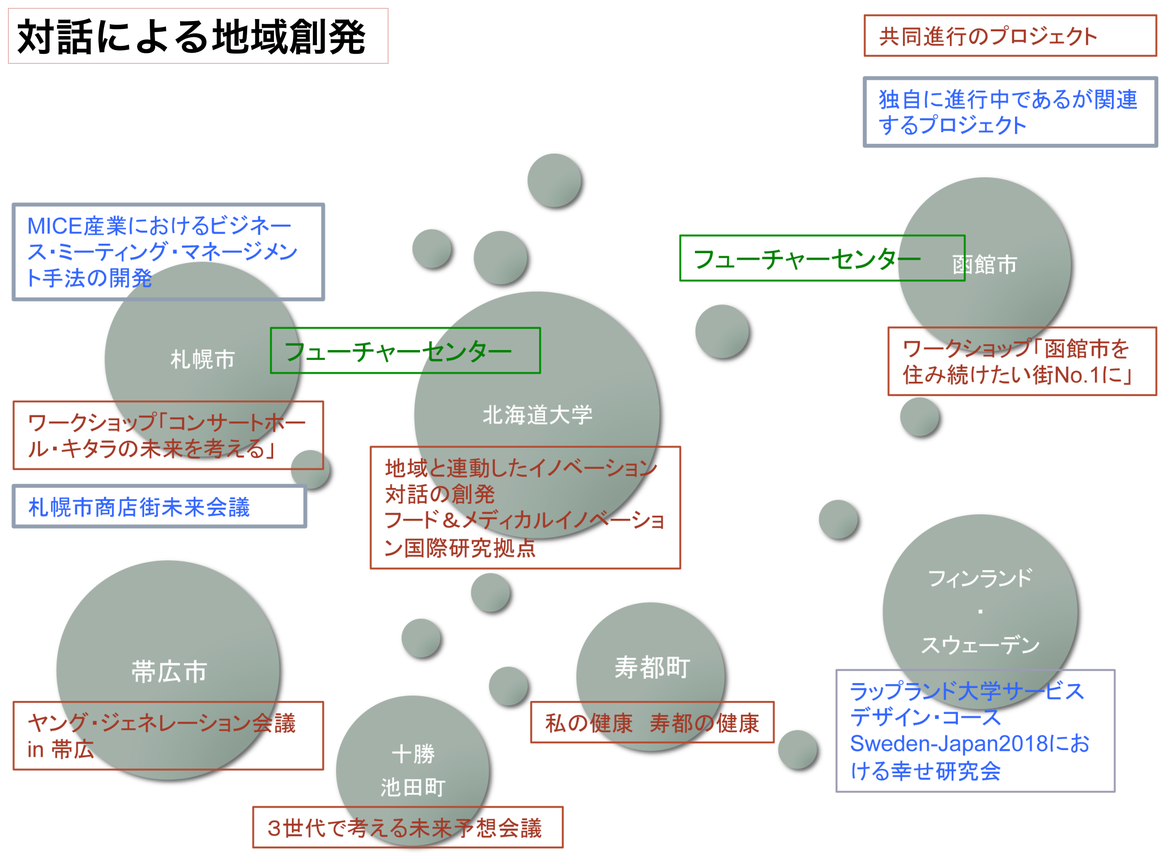
【函館WS後】
- ❖ プランからアクションへ
- ❖ 各グループが独自に動き出す

（FBページの立ち上げ・複数回のイベント開催）

北大型イノベーション対話の今後の展開

対話によって北海道の様々な地域で課題解決などを行っていく。イノベーション創発には効果的な「対話手法」と「場」が必須！！！

対話による地域創発



- ❖ 北大型フューチャー・サーチを使ってみたい方
- ❖ イノベーションを創発する「場」について知りたい方
- ❖ 北大の方向性について知りたい方　　…などなど

ぜひ江端（大会事務局長, ebashin@cris.hokudai.ac.jp）までご連絡を！